


各地域における青少年育成事業・青少年の活動の様子

新庄市  **自然と共生 暮らしに活力**
心豊かに 笑顔輝くまち新庄

新庄市青少年育成市民会議の活動

新庄市青少年育成市民会議は、次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に活動しています。

友好都市である茨城県高萩市との児童交流事業は、新庄市児童の高萩市への訪問が11年目、高萩市児童の新庄市への来訪が12年目を迎えました。

7月に新庄市の小学5・6年生が1泊2日で高萩市を訪問した際は、歴史文化を学んだり、高萩市児童と交流したりしました。8月には高萩市の小学6年生が2泊3日で新庄市を訪れ、戸沢家墓所の見学、新庄まつりの引手体験等を通じて歴史文化を学ぶとともに、新庄市児童との交流も行いました。

この児童交流事業の引率は、青少年育成推進員を中心とした指導者と、中学生・高校生が担っています。ボランティアとして生き生きと活動する中学生・高校生の姿は、小学生にとって良きロールモデルにもなっています。参加した小学生からは「中学生になったら自分もボランティアとして活動したい。」との声が多く寄せられています。実際に、ここ数年、児童交流事業に参加した小学生が中学生になった後にボランティアとして活動に加わってくれています。このように、児童交流事業は、中学生・高校生ボランティアの育成の場にもなっています。

継続性をもった取組を実施し、少年・青年・成人と地域を支える人材育成に努めていきたいと考えています。

金山町  **四季 奏でるまち 金山**

金山町青少年育成町民会議の活動

令和元年度「金山町青少年健全育成町民大会」が、7月31日（水）に金山町農村環境改善センターにおいて開催されました。


講演では、最上総合支庁総務企画部総務課連携支援室連携支援主査 坂本健太郎氏より「新庄・最上ジモト大学からみる地方創生とは」と題し講話をいただきました。子どもたちの健やかな成長のために大人たちは何ができるのか、多くの事を学ばせていただきました。



活動事例では、金山町中高生ボランティアサークル「SUGI☆スターズ」の代表生徒5名にこれまでの活動や、地域に対する思いを発表していただきました。

他に、夏休み中の夜間パトロールや毎月15日の登校時間に合わせた『あいさつ・声かけ街頭指導』を通し、青少年が心身共に健やかで、人間性・社会性豊かに成長するよう見守りを行っております。

今後も青少年の健全育成につながるよう、関係機関と連携し事業を展開していきます。

最上町  **人が元気 地域が元気 産業が元気**
『キラリ輝く田園空間博物館の創造』


社会及び自分をよくするための作文・標語コンクール

今年度の「社会及び自分をよくするための作文・標語コンクール」、「いじめ防止標語コンクール」の表彰式が、11月24日（日）に最上町中央公民館大ホールで開催されました。作文53点、標語399点の応募があり、作文の部で17名、標語の部で15名、いじめ防止標語で15名の方々を受賞されました。作文と標語共に、社会や地域を良くするためにどうすればいいか、小・中学生なりに考えるいい機会になったのではないかと考えています。

また、作文の部最優秀賞の中から4名の児童より作文の朗読発表がありました。6年生児童の朗読発表は、「町の議員選挙はなぜ行っているのか」という疑問から、「どうすれば町の選挙や議員の仕事内容を児童・生徒に知ってもらえるか」という内容でした。私たちもとても考えさせられる作文でした。児童・生徒自らが、どのような行動をとれば良い社会・地域が作れるか、必死に考えたことが窺われて、とても良い表彰式となりました。



表彰式終了後、懇談会として飲み物などを飲みながら懇談しました。朗読発表をしてくれた児童は、ホッとした表情で懇談会を楽しんでいました。今後も、大人と青少年がお互いに学び成長し合いながら、元気なまちづくりに貢献できるように取り組んでいきたいです。

舟形町  **縄文の女神と若鮎の里**

舟形町セーブメディア運動の取組みについて

近年、青少年を取り巻くインターネット環境が著しく変化し、LINEやSNS等に起因する犯罪被害が全国的にも多くなっています。急速にIT技術が進む中で、利用する側がルールを決めて、上手にメディアを活用していくことが求められています。

舟形町青少年育成町民会議では、地域と協力して、地域全体で年間5回のセーブメディア運動に取り組んでいます。セーブメディア運動の期間中は、子どもだけでなく大人も一緒になって、家庭での携帯やスマートフォン、ゲーム等のメディアの時間を減らし、その時間を家族の団欒の時間や家庭学習、読書を増やすように呼びかけています。

今年度は、新たな取組みとして、町の防災無線を活用し、小・中学生が地域住民にセーブメディア運動を呼びかけました。小・中学生が自分たちで運動を呼びかけることでセーブメディアを意識し、各家庭での時間を大事にしています。さらに、各学校や公共機関にのぼり旗を設置することで、家庭だけでなく、地域全体でも取り組んでいるという運動意識を高めています。

今後も、青少年の健全育成に向けた活動のため、セーブメディア運動を継続していくとともに、地域全体で青少年を見守っていききたいと思います。

